窪町だより

窪町小学校令和５年度９月号

窪町小学校ホームページ　URL: http://www.bunkyo-tky.ed.jp/kubomachi-ps/

「ありがとう」

校長　西幅孝弘

酷暑の夏休みでしたが、多くの子どもたちが水泳学習に来ました。特に高学年の泳力基礎を学びに来る子どもたちの積極的な姿が印象に残っています。自分の課題を明確にして何度も挑戦をしながら息継ぎを覚えたり、先生や友だちのフォームを見て自分の練習に生かそうとしたりしていました。観察・思考・工夫・省察は、体育科の重要な資質そのものです。他者の動きの観察や自身の身体の内感を大切に動きづくりに取り組む習慣ができれば、生涯にわたって運動に積極的に取り組むことができると思います。

さて、学校には人知れず、だれかが、だれかのために何かをしているということが至る所にあります。

校長室の窓から見えるホウセンカや朝顔の鉢植えは、強い風に揺れて倒れていることがあります。「後でなおそう」と思って仕事を続けていると、いつの間にかきちんと並んで置かれています。朝あそびができるように荷物置き用のブルーシートを出しておいたのですが、窓の外を見ると知らぬ間に雨が降ってきていました。「いけない。シートを片付けないと。」と思っていると、いつの間にかきれいにたたんで屋根の下に片付いています。花壇や菊の苗の土が乾ききっていて、「水をあげないといけない。」と思っていると、やはり知らぬ間に水やりをしてくれています。ウサギのゆきちゃんの家が汚れてきたから掃除をしないといけないと思っていると、だれかがきれいにしてくれていることもあります。自分の行動が遅いことが大きな原因なのですが、「誰だろう。」と知りたくなります。

ある日、飼育委員の子が全校に「金魚の赤ちゃんが生まれたので育ててくれる人は声をかけてください」とお昼の時間に放送をしました。すると赤ちゃんを見に来てくれる子がいます。「お家の人が飼ってもいいって言ったから、家でお世話をします。」という声が聞こえてきます。生きものの命を大切にしたいという心が伝わってきます。

また別の日、朝の健康観察後に担当の子が職員室へ報告をしに来ることになっているのですが、1年生が職員室の前で下を向いて不安そうにしていると、5年生の子がしゃがんで何か言ってくれていました。遠くから見ていて、アドバイスしてくれているのが分かりました。足下を見ていた1年生は報告を終えると、5年生にお礼を言って教室に戻っていきました。私も5年生にお礼を言いました。思いやりいっぱいの光景はこうしてずっと続きます。

子どもだけではありません。夏休みに菊の水やりをお手伝いしてくださる保護者の方を募ると、手を挙げてくださる方がいます。「夏の終わりにお祭りを。」と考え、学校応援団の方が声をかけると協力してくださる方がいます。ときには、「校外学習の引率が足りません。」と伝えることもあります。すると即座に返信がきます。こうして学校は支えられています。ですから私はいつもこんなふうに思うのです。

ジェイミー・ジョセフさん（ラグビー日本代表ヘッドコーチ）が前回のワールドカップで選手に伝えた言葉のように・・・。

”No one knows how hard you’ve worked.
No one knows how hard you’ve worked.
No one knows what sacrifices you have all made.
You know we are ready.
I know you are ready now.”　（努力を称賛し勇気を鼓舞している言葉です。）

私は、努力だけではなく、見えない善意にも同じことを感じます。

学校にはたくさんの No one knows・・・・・.（だれも知らない・・・・）があるのだと私は思っています。ですから目に見えない善意にいつも感謝したくなります。

多くの「美しい行動」は、声を大にして語られることもなく、だれかに分かってもらおうと考える人もいません。美しい行いは、それに気付いた別のだれかの心に花を咲かせるのだと思います。だからいつも私は「ありがとうの心」でいたいと考えています。子どもたちのいない校舎を歩きながら思いを巡らせた夏休みです。

そして今日からの2学期です。引き続き、子どもたちの小さな「挑戦」の連続を教職員皆で支えていきます。そして「先生はあなたの努力・全力・見えない善意を分かってるからね。」と伝えたいです。そのために、いっそうていねいに一人ひとりを見守っていきます。

この夏、吹奏楽部は東京都小学校吹奏楽コンクールで金賞を受賞しました。ハードな練習に挑んできたみんなにも。

うさぎとかめ、菊のお世話を頑張ってくれたみんなにも。改めて、

「No one knows how hard you’ve worked.」

教育相談について　（スクールカウンセラー　原口　幸・田中　秀明・土岐　静佳）

窪町小学校では、今年度も3名のスクールカウンセラーが勤務しています。教育相談室は、週 4 日開室しています。月曜日と水曜日は土岐、火曜日は原口、金曜日は田中が担当します。教育相談室は、子どもたちが安心して過ごせる居場所です。何か困ったことがあるときに相談できるのはもちろん、何もないときでも気軽に話せるよう、日々の関わりを大切にしています。また、今年度も 4 年生から 6 年生を対象にした全員面接を行っています。保護者のみなさまも、お子さまの学校でのご様子やご家庭での関わり方について、何か気になることがございましたら、小さなことでもかまいませんのでお気軽にご相談ください。

もしもに備えて　今できること　（避難訓練担当　神田　真理）

日本は自然災害が多く、これまでも多くの尊い命が失われてきました。

本校では、児童が自分の身を自分で守る知識を身に付け、落ち着いて状況を判断し避難行動が取れるよう、年11回様々な災害を想定した避難訓練や不審者対応訓練を計画しています。

そして、9月1日は文京区では区立幼稚園、小中学校一斉に引き渡し訓練を実施しています。文京区では、東日本大震災の教訓から震度5弱以上の地震が発生した場合、保護者等が引き取りに来るまでは、児童、生徒を学校で保護することを原則としています。

この機会に是非、通学路を歩きながら、倒れやすいものがないか確認しながらお子さんとお話をしていただければ幸いです。また、ハザードマップを確認する、地震に備え家具を固定する、非常用持ち出し袋を準備する、避難先や連絡先を確認する、など、もし地震や災害が起きた時どうしたらよいか、ご家庭で話し合っていただければと思います。

令和5年度　運動会　（体育的行事担当　川嶋　絵梨）

9月30日（土）に「教育の森公園自由広場」にて運動会を開催します。各学年による短距離走、表現の他に、今年度は全校競技として大玉送りを行います。また、5・6年生による係活動も行います。

運動会は、子どもたちが日常の体育の学習で身に付けた力を発表する場です。また、友達と協力する心を育む絶好の機会でもあります。本番に向けて教職員一同、安全に十分配慮して練習に取り組んで参ります。

今年度も運動会の成功に向けて、子どもたちへの励ましを含め、ご支援とご協力をどうぞよろしくお願いします。

保護者のみなさまには、参観の制限やテントの設営等、ご協力をお願いすることも多々あり、恐縮ですが、どうぞよろしくお願いします。

「いじめ問題対策・対応委員会」について　（いじめ問題対策・対応委員会委員長　橋爪　純子）

学校におけるいじめ問題は、今日、緊急かつ重大な問題でありその対応が強く求められています。学校は、児童にとって安心できる安全な場所にならなくてはいけません。学校はそうした環境作りを主体的・積極的に行っていく役割を担っています。本校でも、いじめ問題に迅速・確実、適切に対応していくために「いじめ問題対策・対応委員会」を設置し、全校をあげて、その問題解決にあたっています。

早期発見に向けて、教職員間で報告・連絡をし、情報交流を行っています。そして、未然防止に向けて、「いじめ」に関する学習を道徳の時間や「ふれあい月間」などを通して、常に児童に発信しています。何よりも、本校の校舎に入ったところにある「ほわほわことばの木」には、お友達への優しい言葉遣いが常に掲示されています。これは、窪町の子どもたちにとって、知らず知らずのうちに身につく「人を大切にする言語」の基礎となり、きっと、いじめのないかかわり方のできる人を育てるのではないでしょうか。そう願い日々、教育活動を行っております。